

報 道 配 布 資 料

平成21年7月28日

平成21年度

「大学教育充実のための戦略的¹大学連携支援プログラム」採択について

山 口 県 立 大 学
山 口 東 京 理 科 大 学
山 口 学 芸 大 学

【問合せ先】

公立大学法人山口県立大学

副学長 みしままきひで
三島 正英

TEL083-928-0211(代表)

このたび、文部科学省の平成 21 年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に山口県立大学、山口東京理科大学、山口学芸大学が共同応募した「個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生」が採択されました。

(申請 平成 21 年 5 月 27 日 採択決定 平成 21 年 7 月 10 日)

1 戦略的大学連携支援プログラム（文部科学省）の概要

(1) 趣 旨

複数の大学が連携して行う教育の質保証に向けた取組や地域と一体となった人材育成に資する取組等を内容とする総合的な連携取組に対し、文部科学省が財政支援を行い、その推進を図るもの。

(2) 平成 21 年度の採択状況（全国）

申請 119 件 採択 38 件

2 今回採択された連携取組の概要

(1) 名 称

「個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生」

(2) 連携大学

山口県立大学	<small>えさとけんすけ</small> (江里健輔学長)	※申請代表校
山口東京理科大学	<small>つかもとたけよ</small> (塚本桓世学長)	
山口学芸大学	<small>かやのひろし</small> (加屋野洋学長)	

(3) 目 的

地域に密着し、特色ある教育研究に取り組んでいる個性的小規模大学が提携し、地元自治体、試験研究機関、民間企業団体との連携体制の下で、それぞれの得意分野を活かした高校・大学との円滑な接続、各種教育プログラムの開発・提供、地域課題解決に向けた共同研究を推進し、地域に広く還元することにより、教育研究水準の高度化、若者の地元定住、地域人材の育成など本県の活性化促進を目指す。

(4) 事業内容

3 大学や地元自治体、関係機関が連携して、「e-quality 仮想的大学」を開設し、以下のプログラムを展開する。

(※e-quality：対等の関係 (equality)、教育研究の質の向上 (いい quality))

- ① 地域の高校生を学びに誘う高大接続プログラムの共同実施
- ② 語学・情報など、各大学に共通する科目の教材の共同開発
- ③ 各大学の得意分野に係る教養科目の教材開発・共有
- ④ 各大学、自治体、民間企業団体との連携によるインターンシップの推進
- ⑤ 3 大学の学生が混成で地域課題の解決に取り組む授業科目「フィールド実習」の展開
- ⑥ 各大学・公設研究機関共同による地域課題解決に資する研究等の推進

(5) 期待される効果

- ① 到達目標の共有による教育水準の向上
- ② 若者の県内大学への進学、県内企業への就職の促進
- ③ 地域活性化シーズの発掘と活用

(6) 総事業費

約 1 億 5 千万円 (平成 21～23 年度の 3 年間)